

ちょうなんまち

議会報

ざかいほう

第140号

平成24年8月

編集・発行 長南町議会広報特別委員会

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL 0475-46-3390（議会事務局）



野見金公園

白井田園

長福寿寺

ぐるっと長南花めぐり

第2回定例議会

町の木 ヒノキ

- 条例の制定・一部改正など 11 議案を可決 2
- 人事案件 4
- 一般質問 6



環境に配慮した「大豆インク」
を使用しています。



古紙配合率100%再生紙を
使用しています。

第2回 定例議会

条例の制定・一部改正など11議案を可決する

平成24年第2回定例議会は、6月20日から21日までの2日間の会期で開かれました。平成23年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告をはじめ、平成24年度の補正予算、条例の制定・一部改正、契約の締結など11議案が提出され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意しました。

また、請願2件を採択し、発議案として提出され、原案どおり可決しました。

一般質問は7人の議員が行い、一問一答方式により議論が展開されました。

一般質問は一問一答方式で

第2回定例議会から一般質問については、質問・答弁のやり取りがより分かりやすいものとなるよう、試行的に「一問一答方式」により行うこととしました。

一問一答方式は制限時間（1時間）以内であれば、何回でも質問・答弁を繰り返すことができます。

また、緊張感のある議論を交わすことができるよう、新たに「質問席」を設け、執行機関側と対面して質問を行います。



▲質問席での一般質問

条例関係

《専決処分を承認》

□長南町税条例の一部改正

地方税法ほか関連法令の改正に伴い、税条例を改正するものです。

主な内容は、寄附金が住民税額控除の対象となる団体の追加、公的年金等所得の寡婦（寡夫）控除に係る住民税申告手続きの簡素化、土地の固定資産税の負担調整措置を延長する改正、東日本大震災関連の特別控除の適用を延長するものです。

《条例の制定》

□長南町災害対策基金条例

「長南町災害対策基金」を設置し、千葉県から交付される「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金を積み立て、町の災害予防対策に活用しようとするものです。

質疑（要旨）

問

基金の内容について伺います。

答

被災した市町村には多く配分し、被災がない市町村にも今後の災害予防対策、応急対策のため、配分されたもので、2カ年で約2,100万円程度積み立てることになります。使途は、平成23年3月11日以降に始めた事業に限られ、今後10年間で使用し、残額については、返却しなければなりません。

□長南町学校適正配置検討委員会設置条例

児童の減少に伴い、小学校の小規模化が進行する中で、「長南町学校適正配置検討委員会」を設置し、町の小学校のよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育を実現しようとするものです。

質疑（要旨）

問

委員の選任方法について伺います

答

地域、学校の状況、歴史に詳しい方、地区の代表者などを選任したいと考えています。

問

期限を定めて協議を行うのか伺います。

平成24年 長南町議会第2回定例会提出議案等 議決結果

議案番号	件名	議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（長南町税条例の一部改正）	承認
議案第1号	長南町災害対策基金条例の制定について	原案可決
議案第2号	長南町学校適正配置検討委員会設置条例の制定について	原案可決
議案第3号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	長南町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	長南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	平成24年度長南町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第7号	平成24年度長南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第8号	長南町地上デジタル放送受信対策施設整備工事請負契約の締結について	原案可決
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願書	採択
請願第2号	国における平成25（2013）年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願書	採択
発議第1号	農業委員会委員の推薦について	原案可決
発議第2号	義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書提出について	原案可決
発議第3号	国における平成25（2013）年度教育予算拡充に関する意見書提出について	原案可決

答 平成29年度には複式学級になる学校があるので、平成25年度中に結果を出せるように協議を行います。

討論

反対討論

この条例には、協議結果を出す期限がありません。期限を定めて協議すべきと考えますので、この議案に対して反対です。

賛成討論

適正配置検討委員会において、委員の意見を聞いた中で調査・検討を行うため是非とも必要な条例であるので、賛成です。

《条例の一部改正》

□特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

町役場の産業医を委嘱することに伴い、条例に産業医を追加するものです。

質疑（要旨）

問 業務内容と報酬額について伺います。

答

業務としては、職員
の健康管理・職場環境
の改善などです。報酬額は月
額4万円です。

■長南町印鑑条例

外国人住民の利便の増進及
び市町村等の行政の合理化を
目的として現行の外国人登録
制度が廃止されることに伴
い、外国人住民を住民基本台
帳の適用対象に加える改正を
するものです。

質

疑

(要旨)

問

外国人登録している
人数、通称、印鑑登録
の実績について伺います。

答

現在39人が外国人登録
しています。通称は、長
年日本で生活している外国人
が、本名とは別に日常使用し
ている日本式の名前です。印鑑
登録は9人が登録しています。

■長南町国民健康保険税条例

適正な税の確保と負担の公
平化を図るため、賦課割合を
見直し、税率などの改正をす
るもので、内容は下記のとおり
です。

国民健康保険税の税率（額）

	医療給付分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
	0～74歳		0～74歳		40～64歳	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
限度額（円）	510,000	据置	140,000	据置	120,000	据置
所得割（％）	8.00	7.90	3.00	2.80	2.50	2.30
資産割（％）	23.00	20.50	10.00	8.00	9.00	5.00
均等割（円）	23,000	21,000	7,600	6,900	7,000	6,000
平等割（円）	28,000	23,000	8,800	据置	8,000	7,000

補正予算

●平成24年度長南町一般会計
補正予算（第1号）

1億3,191万6千円を増額
県補助金、前年度繰越金が
主な歳入となっています。歳
出では総務費、土木費等で、
防犯灯や街路灯の電気料、衛
生費では、焼却灰の処理変更
による広域市町村圏組合衛生
費負担金、諸支出金では、各
種基金への積立をそれぞれ増
額補正するもので、補正後の
総額は43億1,191万6千
円です。

質

疑

(要旨)

問

又富団地の未売却区
画数について伺います。

答

未売却区画数につい
ては、5区画で、戸建
用が1区画、社宅用等面積の
広い区画が4区画です。

問

住宅用太陽光発電設
備設置費補助金の内容
について伺います。

答

発電最大出力1kW
につき4万円の補助と
し、1戸当たりの設備の平均
は3・5kW程度なので、
14万円（県費7万円、町費
7万円）を限度として交付し
ます。本年度は5件分を見込
んでいます。

●平成24年度長南町国民健康
保険特別会計補正予算（第
1号）

平成23年度繰越金を国民健
康保険税に充てるために補正
するもので、補正後の総額
に変更はありません。（総額
11億5,350万円）

契約案件

《契約の内容》

■契約の目的

長南町地上デジタル放送受
信対策施設整備工事

■契約金額

2億2,047万8,530円

■契約の相手方

株式会社 エヌエイチケイ
アイテック 東関東支店

人事案件

■固定資産評価審査委員会委
員の同意

固定資産評価審査委員会委
員の松本顕弥氏（長南）が、
6月末日で任期満了となるた
め、新たに大森和夫氏を選任
したいとして、町長から提案
があり、適任と認め同意しま
した。

氏名 住所
大森 和夫 長南町又富

※固定資産評価審査委員会委
員として、他に田中彰氏（岩
撫）と金澤義雄氏（中原）
が町長から委嘱されており
ます。

■選挙管理委員及び補充員の
選挙を行う

選挙管理委員及び補充員
が平成24年6月26日をもっ
て任期満了となるため、選
挙が行われ、指名推薦の方
法により次の方々が当選さ
れました。

【委員】

氏名 住所

白井 和義 長南町坂本

関 國芳 長南町岩川

石野 重夫 長南町給田

若菜 文雄 長南町佐坪

【補充員】

氏名 住所

齊藤 勲 長南町深沢

風戸 宏之 長南町米満

糸井 秀和 長南町芝原

磯野 治夫 長南町竹林

■農業委員会委員の議会推薦について（議員発議）

農業委員会委員が平成24年7月28日をもって任期満了となるため、町長が選任する農業委員会委員のうち、議会が推薦する2人の委員として次の方々を推薦しました。

氏名 住所

古山 一夫 長南町棚毛

大塚 由一 長南町岩撫

請願

◇採択した請願

・義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願

・国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願

請願の採択により、意見書が議員発議により提出され、原案のとおり可決されました。可決された意見書は、長南町議会議長名で内閣総理大臣ほか関係大臣に次のとおり意見書を提出しました。

意見書(要旨)

○義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責

務を果たすものである。

政府は、国から地方への補助金を廃止し、地方が自由に使える「一括交付金」を政令指定都市に導入しようとしている。義務教育と社会保障の必要額は確保しているが、義務教育費国庫負担制度についても論議される可能性がある。

義務教育における国と地方の役割等について十分議論がされないまま、地方分権推進の名のもとに、このような検討が現実のものとなると、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。また、義務教育費国庫負担制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

○国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。しかし

現在、日本の教育は「いじめ」「不登校」をはじめ、「学級崩壊」、少年による凶悪犯罪、さらには経済不況の中、経済格差から生じる教育格差等、様々な深刻な問題を抱えている。また、東日本大震災、原子力発電所の事故による、甚大な被害・損害の復興にはまだまだ長い時間が必要だ。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、新学習指導要領への移行による授業時数の増加や小学校における外国語活動の必修等に伴う経費の確保も急務である。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要がある。そのため様々な教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状をみれば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠である。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要がある。

そこで、以下の項目を中心に、平成25年度に向けての予算の充実をしていただきたい。

・教育に関する震災支援策を十分にはかること

・少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること

・保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること

・現在の経済状況を鑑み、就学援助に関わる予算を拡充すること

・子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること

・危険校舎、老朽校舎の改築やエアコン、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること

・子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額を改善し、地方交付税交付金を増額すること
国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であること
を再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。

一般質問

仁茂田 健一 議員

企業誘致について

問

長南町は圏央道をは
じめとした、地域資源
を最大限活用し地域力を高め
町民皆様一人一人が長南町に
住んでよかったと実感してい
ただける町づくりを考え、平
成23年度から平成32年度の10
年間にわたる長南町第4次総
合計画を策定しました。この
中の土地利用の項目に「積極
的に企業誘致を図る」と提言
していますので、その活動状
況について伺います。

積極的な考えは持っ
ていない

答 町長

県では凍結になっている工

業団地の適地調査を行いまし
たが、残念ながら長南西部工
業団地は上位の適地に残るこ
とはできず、工業団地として
の開発は諦めざるをえない状

況です。経済の動向をみる中
で、今しばらくは農振農用地
の除外、固定資産税の免除条
例の制定など、企業が進出し
やすい環境づくりに努めま
す。この時代に「こうします、
ああします」とかいうような
積極的に企業誘致するような
考えは持っていません。



▲進んでいる圏央道工事（千手堂 地先）

森川 剛典 議員

有害獣の駆逐について

問

猪などの生息数、経
済的被害や人的被害に
ついて、またその対策につ
いて伺います。

町民の皆様は協力を
頂きながら事業を進
めていきたい

答 町長

鳥獣被害防止計画に基づき
各事業を展開して、駆除に努
めています。猪については
房総半島の南から北上し、生
息域については確実に広がっ
ています。

23年度の県全体では1万
2,077頭の捕獲実績があ
り、本町では72頭でした。農
作物、特に水稲の被害は平成
23年度では37万4千円でし
た。人的な被害についての報
告は受けていません。

対策としては、65基の箱わな
や銃などによる捕獲を実施して

高齢者人口の増加の 対策について

問

独居老人の対策につ
いてお聞きします。

①長南町には現在独居老人の
方が214人いらっしゃい
ますが、見守り活動はどう
なっていますか？

②行政だけでは見守り活動に
も限界があるので、住民や
地域が参加する方向も検討
できないか。

配食・見守りサービ
スの実施を検討
見守りのシステムを
作りたい

答 町長

①第5期高齢者福祉計画に基
づいて、緊急通報装置の貸



▲蔵持地先で開催された協働交流サロン

協働の推進について

問

①町が推進する協働事業の現在の取組みと、②協働サロンなどの団体への今後の推進・支援についてどう考えているか伺います。

与事業の活用促進を図るとともに社会福祉協議会で実施している給食事業を補完する形で、独居高齢者や高齢者の2人暮らしの皆様方に配食・見守りサービスの実施を検討していきます。

②近所の方々、地域の方々で見守って頂くようなシステムを作っていきたいと考えています。

側面的に支援していきたい

答 町長

①協働事業は多種多様で、地域の美化活動、環境ボランティア、生態系保全活動、スポーツ振興事業、また高齢者等への給食サービスや防犯パトロールもその一つです。今後の地域社会において地域との協働は必要不可欠であることを十分認識して頂けるように啓発関係にも取組んでいく必要があると思います。

②行政側の支援方法も組織や事業の実施方法、補助金など手法もさまざまですが、その活動の特性を損なわず発展継続できるよう、活動状況や発展段階に応じて側面的に支援していきたいと考えています。

また、総合支援する政策室と実質的所管の関係室等で常に連携をとりながら施策の実施を考えてまいります。

丸島なか議員

地域防災会議委員の女性登用について

問

地域防災会議の委員に女性がない自治体が多くあります。本町の地域防災計画委員に女性を登用することについて伺います。

今後登用できればと考えています

答 町長

現在、地域防災会議委員は20人で構成され、その委員は、災害対策基本法により充て職で決定されます。その中には女性委員は選任されていません。町の人事などで女性の登用ができればと考えています。

海拔表示について

問

役場庁舎、各小・中学校の指定避難場所に海拔表示板を設置することについて伺います。

今後検討します

答 町長

役場は海拔41m、長南小24m、豊栄小28m、東小23m、西小が40m、中学校が45mです。今後各小・中学校の避難所看板に海拔表示シールを張るなどの検討をします。

防災備蓄品の状況について

問

多くの人が、どの程度用意されているか心配しています。備蓄品の充実について、また、避難所の各学校にいつ頃、備蓄品を搬入するか伺います。

食糧・飲料水などを備蓄しています

答 町長

食糧・飲料は、アルファ米500食、飲料水500mlで

約300本、生活必需品では毛布42枚、組み立て式トイレ30個、おむつ60個、医療救護機材では、担架5個、救急セット11個、その他の機材では、投光器、スコップ、発電機、防災釜、燃料油、しゃもじ類の炊事・煮炊き用の備品などを役場敷地内の防災倉庫に備蓄しています。各学校への備蓄は、食糧、飲料水を中心に年度末までに搬入する予定です。

学校通学路の安全対策について

問

集団登校中の小学生の列に車が突っ込むという、交通事故が多数発生していますが、通学路に危険箇所がないか、学校現場での具体的対応及び環境整備について伺います。

再点検の結果、危険箇所はない

答 教育長

町教育委員会として、5月の校長会議で通学路の車・崩落・不審者の各対策について再点検を指示し、その結果危

除箇所はないとの報告でした。又、通学路の環境整備は、PTA連絡協議会で調査し、要望書を町に提出しています。



▲保育所で開催された交通安全教室

自転車事故防止に対する指導は

問 事故防止のため、どういった指導をしているか伺います。

交通安全教育を実施

答 学校教育室長

交通安全教室を実施し、自転車に乗る時はヘルメットの着用を指導しています。

自転車の免許制度について

問 自転車事故を防止するため、自転車運転免許証制度がありますが、この制度を町で実施する考えがあるのか伺います。

今後検討します。

答 町長

免許は、教育委員会を中心に検討します。

加藤 喜男 議員

町の会計制度について

問 町会計は、単式簿記、現金主義であり、減価償却費等の非現金情報が考慮されていないことから総務省より複式簿記による会計の指導があるようですが状況について伺います。

公表を予定しています

答 町長

現在は、各年度の現金の動きを把握するのみで、資産や負債の状況、変動については把握できませんでした。現在、複式簿記による貸借対照表、行政コスト計算書等の4表を作成中であり、今年度中に公表します。

人口減少問題について

問 本町の人口は9,100人となり、減少傾向にあることから過疎地域の指定を受ける

きました。このため過疎対策費なる項目を設け、検討委員会の設置やマスコットキャラクターの作成等を進める方針ですが、検討委員会の状況や、同じ状況の自治体との情報交換があるのか。また、若いお母さん方と少子化について語り合う考えがないかお聞かせください。

各種事業を実施しています

答 町長

人口減少に歯止めをかける施策にならざるを得ない状況です。各種事業については、過疎対策、人口増加対策といっても過言でないと考えています。マスコットキャラクターは、8月15日期限としてデザインを募集中です。

過疎の対策委員会については検討中です。また、過疎指定を受けた自治体についてはインターネットで状況を見守っております。



▲公民館事業のさわやか子育て教室

協働について

問 町の協働に対する基
本方針では、行政や、

住民だけでは解決できない問題に対し、お互いを尊重しつつ、協力、連携し合いながら、地域の課題解決に向けて取り組むものとあります。町では見守り活動やごみゼロ運動等を協働としていますが、基本方針に照らして真の協働と言えるのか見解をお聞きます。

すばらしい協働であると思っています

答 町長

町がおしつけたものじゃだめ、みなさんだけでやろうと思ってもだめ。お互いが、「いいだろう」「ああそうだね」ということでやる協働が本当の協働であると思います。

現在町が協働と考えている諸活動で、参加者がよろこんで協力しあってやっていると思えば、すばらしい協働だと思います。

防災無線のデジタル化について

問 防災行政無線のデジタル化の予算が計上さ

れているが、発注については明朗に進めていただきたい。



小幡 安信 議員

町政について

問 町長の政治姿勢について。町長の熱い思いが

町民に伝わっていない。積極的に発信してもらいたい。町長の今後の町政に対する取り組み姿勢をお聞かせ願いたい。

本年度は既に契約済です

答 町長

平成24年度から5ヶ年をかけて総額3億2,000万円程度をかけて工事を行いたい。スイス通信株式会社と2,357万円の工事請負契約をついこの間締結したところです。

公約実現に向けて執行している

答 町長

5つの基本理念を掲げて審判を受け実現に向けて執行している。特に4期目は農業問題中心に進めている。財源も積み立てている。

問 町のホームページで町長の考えを発信できないか。

答 町長

自身ではやらない。

町興しについて

問 ①小中学生の町興しへの参画について。小中

学生のうちから町づくりを考えてもらって、継続的に高校生、大学生、青年へとつなげていけないか。2分の1成人式や子供議会を行ってどうか。②新しく住民になった方の能力を活かす方法について。転入者を町の発展に結びつけることが重要と考える。町として転入者、外国人に対してどのような対応をしているか。③地域資源の活用について。ガスの今後の活用プランはあるか。空き家、耕作放棄地の活用はどうなっているか。町内の企業、ゴルフ場との協議体制はどうなっているか。

検討などを行っている

答 教育長

①町についてよく知り、理解した上で町づくりに参加、活躍したい意識、意欲を育



▲伝統工芸や文化の継承を目的とした小学生の紅花染め体験

成する事が基本。そのために授業の中でいろいろと取り組んでいる。2分の1成人式や子供議会は限りある授業時間の中で検討しなければならぬ。

答 町長

②一般的な対応のみで特別な事はしていない。外国人にも特別な対応はしていない。地域の皆様方にお任せしているのが実情。能力を活かすために公募委員への登用等の働きかけをしている。

③ガスの今後の利用については原ガス購入企業と協議をします。空き家については43件の情報提供があった

板倉正勝 議員

が、登録には積極的ではない。工業団地については連絡協議会があり情報交換の場として利用している。

圏央道工事車両が利用している町道について

問 圏央道工事車両の利用度が高い町道は

傷んでいるところが見受けられますが、工事車両利用後の町道の補修について、発注者である国側とはどのような話になっているのでしょうか。

開通後の本復旧を指示している

答 町長

工事車両が利用した町道の補修については、事業主体の千葉国道事務所及びネクスコ東日本との協議で、町から舗

装復旧の路線を指示しており、一部の町道では業者のほうで仮復旧を始めておりま



▲補修が予定されている町道（千手堂 地先）

す。本復旧の時期については、工事が完了し、圏央道が開通する平成25年度から実施していく予定だと伺っております。

要望や苦情に対しての対応が遅いのでは

問 圏央道の下の集落関係の排水整備等が進め

られていないところが多くなり多く見受けられますが、どのように対応しているのでしょうか。また、そういう要望や

苦情に対して、地元と発注者側とのパイプ役を町がしていると思いますが、対応が遅いように見えます。もっと積極的に動いてもらえないでしょうか。

出来るだけ要望を反映していく努力を

答 町長

排水整備等について今現在、圏央道の本体工事を優先しておりまして、付帯工事が大分遅れております。このことに関してだけではなく、様々な要望や苦情に対して町としてできるだけ地元の要望を反映できるように発注者側と協議をしておりますが、話が折り合わないこともあるというのが事実でございます。今後町と国とで考え方が一致しないことがあっても、話がうやむやのままでは終わらせようなどとはあってはならないと考えています。そして、決めたことについては施工者・国側に対してやっていただくように働きかけていきたいと、考えております。

インターチェンジ周辺開発の進捗状況は

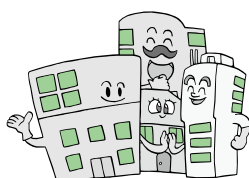
問 インターチェンジ周辺の開発についての進

捗状況はどのようになっているのでしょうか。やはり、なんとか企業を誘致してやらない限り、長南町の発展は厳しいと思うのですが。

積極的な誘致はしない方向で

答 町長

以前にも話に出しましたが、今は前もって用地を購入して、企業を誘致するような時期ではないと考えています。誰かが来てくださるなり、そういう話が出た時には、町として様々な面でサポートさせてもらうということが現段階の考え方であるということに変わりありません。



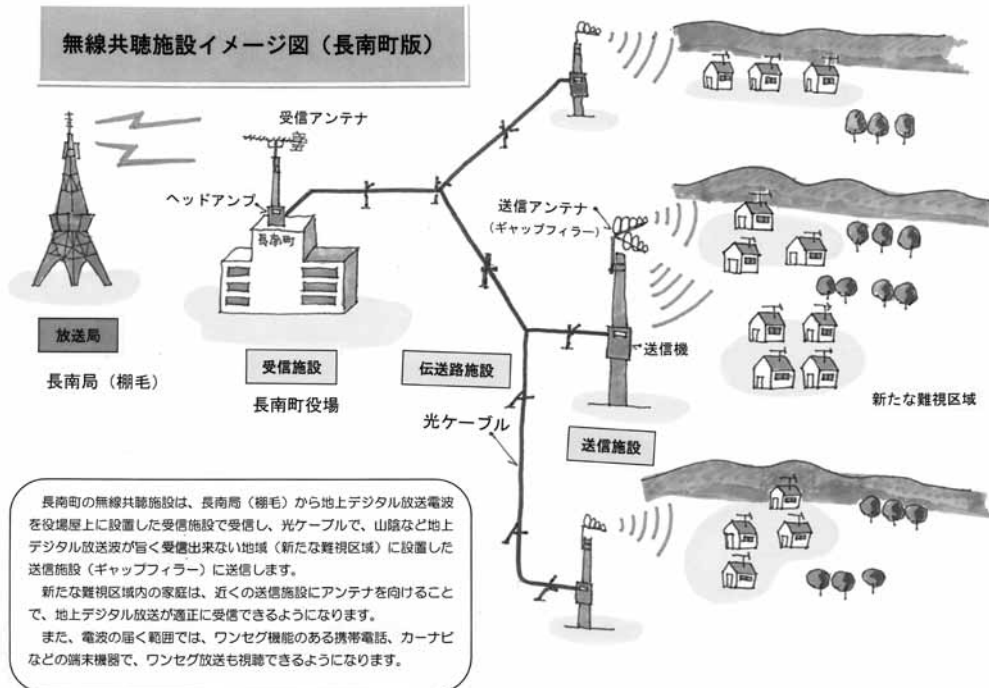
左 一 郎
議 員

平成24年度の地デジ対策について

問 昨年6月に地デジ対策について一般質問しました。詳細な調査をしていただいて1基でも減らしてもらおうと、ところが、24年度の事業では当初62基の予定が74基と12基も増えています。また、西・東地区の工事を2期目にした理由として、スカイツリーの電波の状況を見て検討するということでしたが、具体的にどのような調査をしたのか、また増えた経緯と予算の概要を説明願います。



無線共聴施設イメージ図（長南町版）



▲無線共聴施設イメージ図（長南町版）

調査の結果12基増加

答 町長

スカイツリーの関係と本年度の事業関係ですけれども、5月22日にスカイツリー

が開業いたしました。スカイツリーから地上デジタル波を発信するのは来年1月頃になる予定となっております。発信されてから新施設の設置場所を決めるとなると整備が大きく遅れることになります。また、スカイツリーからは、千葉テレビの電波が発信されませんので、難視区域が解消されたことにはならない面もあります。本年度送信施設を予定した場所についてはスカイツリーからの発信を待たずに早期に難視区域の解消を決めたものです。次に新施設の数が増えた理由は、難視区域は当初16地区1,331世帯でしたが、現在は19地区1,544世帯と増加しています。

答 企画財政室長

当初の計画では総事業費4億500万円を想定しておりましたが、12基増えたことで、4億4,625万円に増加したところです。国庫補助金の改正がありましたので当初計画では町単費が

1億500万円でしたが、現在は9,275万円を予定しています。

今後の維持管理費は

問 この地デジ事業に関

して今後維持費がかかって行くわけですが、72基分の維持費が年間いくらかかるのか、その維持費を町が全部負担して永久にやっていくのか伺います。

町が負担します

答 企画財政室長

年間の維持管理費は約1,200万円と考えています。維持管理費については今のところ補助制度などの国の交付金の対象になっておりません。現段階では維持管理費は、町単費で払い続けることとなります。

答 町長

現時点では町が負担していくと考えています。



議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名などを記入するだけです。

町議会では、皆さんの生活に密着した問題が審議されますので、あなたも議会の傍聴にぜひお越しください。(第2回定例議会傍聴者数は、延べ10人でした。)

平成24年第3回定例議会は、9月に開会されます。

日程等の詳しいことは、議会事務局(46-3390)へお尋ねください。

議会活動日誌

平成24年

5/14 3市3町議会議長連絡協議会総会、行政視察(～15日)

5/21 長生郡市広域市町村圏組合議会臨時会

5/22 千葉県南部地区議会道路整備協議会総会

5/26 水防訓練

6/ 1 千葉県町村議会議長会定例会

6/ 4 議会運営委員会

議会全員協議会

6/11 議会運営委員会

6/20 第2回定例議会(～21日)

7/11 ガス事業運営協議会

7/12 議会広報特別委員会

7/17 長生郡市広域市町村圏組合視察研修(～18日)

7/20 議会広報特別委員会

皆さんの声を町政に

議会では、町民の皆さんのご意見やご要望を町政に反映させたいと考えています。

議会に関するご意見や議会報を読んで感じたことをお寄せください。

お待ちしております。

次回の議会報は、平成24年11月発行予定です。

TEL 0475-46-3390

FAX 0475-46-1214

e-mail:gikai@town.chonan.chiba.jp

長南町議会

図書カードが当たります!

3つの答えの中から正しいものを選びハガキに書いてお送りください。「議会報」を読めば分かります。

クイズ No.76

問1 平成24年第2回定例議会は、いつから開催されましたか。

A、平成24年6月4日

B、平成24年6月11日

C、平成24年6月20日

問2 平成24年第2回定例会で、何人の議員が一般質問を行いましたか。

A、5人

B、6人

C、7人

問3 平成24年第2回定例議会から試行的に行われた一般質問の方式は何ですか。

A、一括質問一括答弁方式

B、一問一答方式

C、併用方式

《応募方法》

ハガキに議会報の番号、答えの記号(例、問1 A、住所、氏名、年齢、職業(学校名)を記入のうえ応募してください。また議会報についてのご意見やご要望などを書き添えてください。全問正解者の中から、抽選で7人の方に図書カードをプレゼントします。

あて先

〒297-0101 92

長南町長南2110番地

長南町議会事務局

締め切り 平成24年8月31日

(当日消印有効)

前回の全問正解者数は、16人で正解は問1=A、問2=B、問3=Cでした。当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

うつとらしい梅雨も明け、夏本番となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年は、金環日食、東京スカイツリーのオープン、また今、ロンドンオリンピックが開催中です。メダルをいくつ獲得できるか、日本人選手の活躍が期待されています。

長南町議会では、この6月定例議会から一般質問が一問一答方式へと試行で開始されました。時間は最長1時間ですが、登壇者は、場所や向きが違いため、戸惑いましたが、体験してとても分かりやすく良かったのではないかと感じました。皆様に愛される議会報作成のため、ご意見・ご要望をお待ちしております。

暑さ厳しい時節柄ご自愛ください。(丸島 なか)

